

事業所名

運動療育センターばるこ  
(放課後等デイサービス)

## 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		①根拠のある支援 ②将来を見据えた支援 ③地域との関係づくり ④発達支援を多くの方に知ってもらえる未来を作る							
支援方針		個別性の高いプログラムで自立・自律した活動的な生活を目指します。～子どもたちの「できた」や「得意なこと」をみつける～							
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	○あり	なし	*送迎範囲は事業所より30分以内。
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の確認：来所時の検温や視診、また活動中も常に観察を行い健康状態に留意します。</li> <li>生活のリズムや生活習慣の形成：スケジュールやおやつを選択性にしており、自身で選ぶという経験を支援します</li> <li>基本的な生活スキルの獲得：ADLや身支度などの身辺整理などの指導を実際の場面で実施。特性に配慮した視覚支援や環境の構造化をして実施する支援を行います。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動スペースを確保しており、小学校で行う体育の課題（跳び箱や鉄棒・マット運動）などを事前に練習をして小学校など自信を持って活動が出来るように支援します。</li> <li>理学療法士により運動評価をしながら、適した運動を提供いたします。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールやおやつを決めて【自分で決めた】という経験を積んでいく。</li> <li>自身で決めたスケジュールを見ながら活動を促すことで、時間の意識や経過を感じられるように支援します。</li> <li>小集団での楽しい遊びや関わりの中で、自分の気持ちを知り前向きな行動になれるように支援します。</li> </ul>							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールなどを絵カードや文字を用いて見える化した支援をします。</li> <li>遊びや活動の中で多くの言葉に触れる支援をします。</li> <li>気持ちの代弁から子ども自身が伝わったという経験を持ってもらえるように支援をします。</li> </ul>							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>段階的に他者と関わることで適切な対人スキルを身につけられるよう支援します。個別または小集団の中での挨拶や順番待ち、ルールの理解といった基本的な社会的マナーを学び、小集団の中での役割を意識できるよう促します。また、遊びや共同作業を通じて、相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを適切に表現したりする力を育みます。</li> </ul>							
家族支援		定期的な保護者面談で子育て全般について話す場を設けております。LINEを活用しながら、活動時の様子を共有しております。		移行支援		小学校への情報共有			
地域支援・地域連携		相談支援事業所と連携をして支援をしていきます。他事業所や学校や児童クラブ等とも情報共有を進めながら支援します。自立支援協議会に参加し、他事業所との情報共有などを行ってます。		職員の質の向上		外部研修への参加。 地域の事業所からの外部講師による研修。 事業所内での研修。(虐待防止や身体拘束について、感染対策などの研修や発達特性についての勉強会など)			
主な行事等		公園での運動活動・近隣での体育館を活用したスポーツ体験・クリスマス会などの時季イベント 等							